

どすこい かわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「立花マジック会の活動取材」

定期的に立花ゆうゆう館で活動されている「立花マジック会」会長の鈴木博さんと、お仲間の宇田川俊夫さんのお2人にお話を伺いました。



(左側 宇田川さん、右側 鈴木さん)

Q1 どのような活動をしていますか？

退職後、習得したマジックの技術を生かして、ボランティア活動をしています。すみだボランティアセンターに登録していますので、墨田区内の高齢者福祉センター、デイサービスからの依頼の他、町会、子ども会、聴覚障害者の敬老の集いでのマジック披露等、依頼に応じて活動しています。平均すると年6、7回程度依頼があり、毎回4、5人で30分に約10種類のマジックを披露

しています。

Q2 マジックをするきっかけは何ですか？

サラリーマンを退職後、何か地域活動をしたいと考えていたところ、平成15年11月から12月にかけて、立花ゆうゆう館で、墨田区内の60歳以上の初心者を対象としたマジック教室が開催されて、これに参加したことがきっかけです。2時間のレッスンが5回あり、終了後、卒業生十数名が集まり、平成16年1月16日に「立花マジック会」を設立しました。

この時は男性と女性の割合が7対3でしたが、現在は男性2名と女性8名の構成となっています。やはり女性の方が元気で長生きですね。(笑い)今も定期的にマジックの技を磨いています。

Q3 それまではどんなお仕事をしていたのですか？

(鈴木さん) 私は、サラリーマンとして会社で財務関係の仕事をしていました。マジックは初めてでした。趣味と言えは野球を少ししたくらいですね。

(宇田川さん) 私は東海道新

幹線の電気設備設計に携わっていました。マジックは初めての経験になります。

(鈴木さん、宇田川さん) 私たちは今70代が大半ですが、みな職中、大阪万博があり、バブルを経験し、ものすごく忙しい時代でした。

Q4 どんなマジックを披露するのですか？

トランプ、絹のハンカチ、ロープ、箱、徳利等を使用します。私たちにとってはトランプのマジックが少し難しいですね。

Q5 マジシャンとして心構えはありますか？

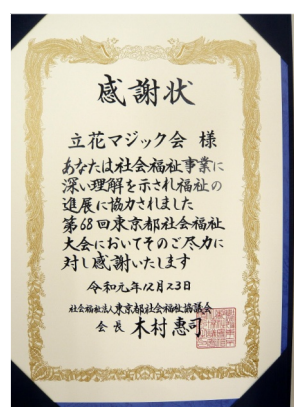
マジックを楽しんで見てもらうためには、1に練習、2に練習することで自信をもって演じることが出来ます。その他に、◇種明かしはしない、◇同じことは2回しない、◇次に起きる現象は説明しない。

(記者) 確かに種が分かっってしまうと興ざめですね。

Q6 マジックを習得して良かったことは？

私たちのマジックを見て、心のそこから笑って楽しんでくれるのが一番うれしいです。それと平成16年に、墨東ライオンズクラブから、ボラン

ティア大賞をいただいたことと、令和元年12月に、私たちの活動が、東京都社会福祉協議会に認められて、第68回東京都社会福祉大会で感謝状を頂いたことです。さらに、皆



さんに私たちのような高齢者でも元気に過ごしていることを知ってもらえることです。体が元気である限り続けたいですね。

(記者) インタビュー後、実際に目の前で絹のハンカチとトランプのマジックを披露してもらい、その鮮やかな技に参りました。



ラーが利かないトラブルになると言われていた。

造作のないことである。しかし、作り笑顔では解決しない事態が生じてしまった。開店3日前だというのがに電気が通じないというのである。内装工事一式は設計者に依頼していたが、電気工事と店舗用クーラーは別扱いにしてもらい、近所の電気屋さんに依頼したことが原因であった。設計者からは店の広さやオーブンの熱排出量も割り出してクーラーを設置しないと、夏場にクー

オーブンが使えないとなれば、日持ちする焼き菓子も、もともとのケーキ屋で焼くしかない。家庭用のガスオーブンでは一回に５個しか焼けない。夜遅くまで何回も何回も焼き、焼き上げることができた。

白衣の上からきつく巻き結んだ腰エプロンの紐を解く。どっかりと椅子に掛けると急に空腹を覚えた。子供たちは母の田舎料理を食べて風呂に入り、もう寝てしまったことだろう。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

手軽にクッキング 112 <2月のお惣菜>

<材料> 2人分 (1人分205kcal)

A close-up photograph of five rectangular, golden-brown fried items, possibly tofu or fish, arranged in a row on a white plate. They are garnished with finely chopped green onions and a dark, glossy sauce. The background is a textured, dark surface.

1. 生揚げは熱湯をかけて、油抜きする
2. トースターで、1の生揚げの表面を3～4分焼く
3. 2の生揚げを、4等分にカットする
4. ねぎは、青い部分を含め、粗みじん切りにする
5. ねぎ味噌の材料をよく混ぜ合わせる
6. 3の生揚げに、5のねぎ味噌をのせる
7. 再度トースターで3～4分焼く
8. こんがりと焼けたら、器に盛りつける

(協力：食育支援部)

「久しぶりに、日の出と共に起きる習慣」 吉田 修

私は水戸街道沿いのマンションに住んでいます。ベランダからは左の方角に曳舟の高層住宅が見えます。正面には中学校のプールと校舎があり、その右後方に、スカイツリーがそびえています。右端



の方角には東京タワーが見えます。天気の良い日は太陽光が1日中、射し込むので、ベランダ側の部屋には全て、レースと厚手のカーテンを2重にしてあり、特に寝室のカーテンは、光を全く通さない遮光カーテンにしています。

これは現役のころ深夜勤務もあったため、日中でもカーテンを閉めれば真暗になり寝られるようにとの妻の配慮から、退職後もそのままにしています。1年前の季節の変わり目に部屋の掃除をした時に、合わせてクリーニングに出し

ました。寝室以外の部屋には予備のカーテンを掛けました。寝室のカーテンは同じ物が無いので、レースのカーテンだけで眠れるかどうか不安でしたが、試してみました。ベッドに横になると、スカイツリーの下から上まで全部見えます。「粋※」、「雅※」、「幟※」、オリンピックの五輪の旗の5色の照明、国旗の照明は下から白・赤・白の照明、スポーツ大会で日本人が優勝すると金メダル色の照明、つい最近では、中華系の正月を祝って赤1色の照明など、レースのカーテン越しに見ていると、自然に寝入ってしまう。そして外が日の出と共に明るくなってくると自然に目が覚める。

先日、太陽が出てくる瞬間を見たくなり、目覚まし時計を6時半にセットして、待ち構えていた。運よくその日は雲が無い。暗い空が徐々に赤くなり始めて、オレンジ色になり、太陽の光が、地平線上に見えるに従い、空が黄金色に染まってきた。太陽が顔を出してからの動きは意外と早いもので、

10分も経過すると高く上昇してしまつた。数十年ぶりに見る大自らの素晴らしいドラマのようでした。



昨年の台風が来たときは、強風が荒くれて、スカイツリーの周りの雲を吹き飛ばしているのが見えました。ほんの少しですが、1年間、自然と共に寝起きする体験ができました。

この部屋のガラス戸は内側にペアガラスを追加してあるので、外気は3枚のガラスで遮断されています。結露も無く外気の影響は受けにくくなっていますが、このままカーテン無しにするか

どうか思案中です。

早起きしてラジオ体操を楽しんでいる人にとっては、日の出を見るのは珍しくないとおっしゃる方が居ると思いますが、散歩や買い物、道順を少し変えただけで、新しい発見があるかもしれませんね。

※粋 隅田川の水をモチーフとした青色の光で心意気を示す

※雅 優雅で気品のある江戸紫色の光で美意識を示す

※幟 橙色を基調とし3つの面に区切られた垂直性を強調したデザインで賑わいを示す

「シニア人材バンク

登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動を行っています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？



令和元年度 第4回



セカンドステージセミナー

～元気で100歳 今年も墨田で粋に暮らそう～

尺八の奏でる音色を楽しみませんか

～世界的に活躍する演奏者をお招きします～

日時：令和 2年 3月 11日(水) 午後2時から4時まで

内容：第1部 ◇尺八演奏 都山流大師範 大由 鬼山氏

第2部 ◇簡単なストレッチ体操 吉野 百香氏(作業療法士)

◇みんなで一緒に歌いましょう 吉岡リサ氏(歌手)

会場：すみだリバーサイドホール2階イベントホール(墨田区役所併設)

参加費：無 料

定 員：200名

☆どなたでも、お気軽にお越しください☆

お電話にて、以下へお申し込みください。(平日 午前10時～午後4時)

NPO法人 て一ねん・どすこい倶楽部 事務局 ☎ 5631-2577

■主催：墨田区

■企画・運営：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部(墨田区東向島1-17-8)



つながる
墨田区

発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168 FAX 03-5608-6404

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間：平日午前10時～午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

冬になれば雪が降るのは当たり前のことでしたが、最近はそのでもないです。スキー場のある地域でも雪が降らないためスキー場の営業ができないそうです。やはり地球温暖化がすすんでいるのでしょうか。せめてエコに協力しなければと買い物にはエコバッグを持参しています。

編集後記